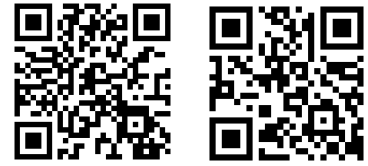


地域の労働者と青年の結集をめざす

# 横三労連新聞 第217号



2024年11月29日発行

<http://www.yokosan.info/index.htm> e-mail:lycoris06@jcom.home.ne.jp

ホームページ メール

☎090-1837-5347 〒239-0822 横須賀市浦賀6-8-1 田中気付



## 県職労 賃金確定闘争

### 第35回定期大会、盛会！

10/18(金)、汐入の総合福祉会館で、横三労連第35回定期大会を開催しました。

来賓として、神奈川県労働連合会谷議長、県労働センター遠藤さんがご挨拶、日本共産党からは、井坂県議の紹介で、井坂市議と、ためそう候補が紹介され、それぞれひと言ずつご挨拶されました。

討論では、土建から秋の拡大月間、三浦市職労から新歓と平和の取り組み、県職労か

らはさまざまな活動上のご苦勞、年金者から市への要望と年金裁判、自交総連からはライドシェアの問題、うわまち病院からはベア報酬が手当にされた問題、合同労組から労働相談、愛加那からクラスター発生、かがみ田苑からは指定管理落選、公務公共一般からは、インドネシア海軍のパレードに、市の職員が動員された件などが報告されました。

11/6 神奈川県労連（県職労、自治労県職、公企労、高教組、神教組）は、県庁労務と第2回幹事団交渉を行い、10/11の県人事委員会勧告（給与・一時金のプラス改定）について、完全実施（4月遡及、差額支給年内実施に向け努力）の回答を引き出しました。

しかし、ここに至る経緯は「異例」でした。県人勧を受け、10/22の第1回幹事団交渉では、県労務からいきなり「交渉の一時中断」が提案されたのです。「総選挙で、国の給与改定に係る閣議や、国からの給与改定通知発出の目途が立たないため」という理由でした。

知り得る限りで、総選挙を理由として交渉中断の府県はありません。主体性を余りに欠いた県当局の対応には、ただただあきれられるばかりではありません。

むしろ、県労連としては、交渉継続を強く働きかけ、結果的に前述の回答を引き出すことができました。県労務担当部長からは、「県労連からの強い要求を受け、職員の期待は大きいと認識した。異例の、大変厳しい調整の結果であった。」旨の発言がありました。

具体内容についての交渉はこれからで、「ヤマ場」は12月下旬となる見込みです。引き続き、組合員の要求実現のために、強い姿勢で交渉に臨み続けなければなりません。

### 強風の中、ピースに参加！

10/20(日)、三笠公園でピースフェスティバルが開かれ、平和委員会&原水協が出店しました。

当日は強風で、軍港めぐりは欠航、テントを立てることもできず、寒くて平和委員会のビールの売れ行きはよくありませんでしたが、原水協のモツ煮、フライドポテト、ぎんなんは完売し、財政活動に貢献しました。隣は今年も九条の会、その隣は土建さんでした。

途中で、横三労連も加盟する市民連合が野党統一候補に認定した、ためそう候補も立ち寄り、皆と進行を深めていました。

